

平成 28 年 10 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・
平成 29 年 4 月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	マクロ経済学

以下の問 1、問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

問 1 財市場と貨幣市場からなる短期の閉鎖マクロ経済に関して、以下の諸関数が与えられている。

消費関数： $C(Y)=cY$ ，投資関数： $I(r)=-ar$ ，通常時の貨幣需要関数： $L(Y,r)=kY-br$ 。

ここで、 $Y \geq 0$ は国民所得、 r は利率($-\infty < r < \infty$)を表す。また、定数 $0 < c < 1$ 、 $a > 0$ 、 $k > 0$ 、 $b > 0$ を仮定する。さらに、 $G \geq 0$ を政府支出、 $M \geq 0$ を貨幣供給量とする。このとき、以下の問に解答しなさい。ただし、言及されていない経済変数（物価水準、純輸出、租税、等々）は考慮しなくてよい。

- (1) 上記の経済モデルにおける均衡国民所得と均衡利子率を求めなさい。
- (2) いま、いわゆる流動性の罠 (liquidity trap) の状況を上記の経済モデルに加える。ここで流動性の罠とは、 (Y,r) 平面上の LM 曲線の水平部分を指すものと解釈する。流動性の罠を組み入れた貨幣市場の均衡条件は以下のように修正される。

$$\max\{b(v-r), kY-br-M\} = 0.$$

ただし、定数 $v > 0$ は利子率の下限を表し、 $\max\{A,B\}$ は A,B の大きい方を表す。このとき、LM 曲線を (Y,r) 平面にできるだけ正確に図示し、かつ、流動性の罠が生じる Y の範囲を求めなさい。

- (3) 均衡が流動性の罠の状態に存在するための G の条件を求めなさい。
- (4) 経済が流動性の罠にあるときの、国民所得に対する政府支出乗数と、通常時、すなわち経済が流動性の罠にないときの政府支出乗数をそれぞれ求めなさい。拡張的財政政策が所得の増加に関してより効果的なのはいずれの場合であるか、答えなさい。

問2 資料1を読んで、以下の(1)と(2)に答えなさい。解答には、必要に応じて数式や図による説明を含むこと。

(1) 資料1下線部(A)「マネタリーベース(資金供給量)を2年で倍増する」という金融政策はどのようなものか、その仕組みと想定された効果を解説しなさい。

(2) 資料1下線部(B)「16年1月にはマイナス金利政策の導入」が決定されたとあるが、このマイナス金利政策の概要を記述したうえで、その効果をマクロ経済学理論に基づいて説明しなさい。説明には、(1)で解説した政策との比較を含むこと。なお、効果についての論述は、批判的でもそうでなくてもどちらでも構わない。

資料1 マネー潤沢、上がらぬ物価 緩和効果に懐疑論も
日銀資金供給、初の400兆円超え

(出典：2016年7月5日付日本経済新聞朝刊)

以上